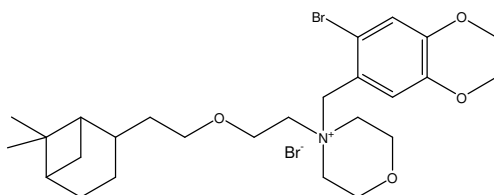


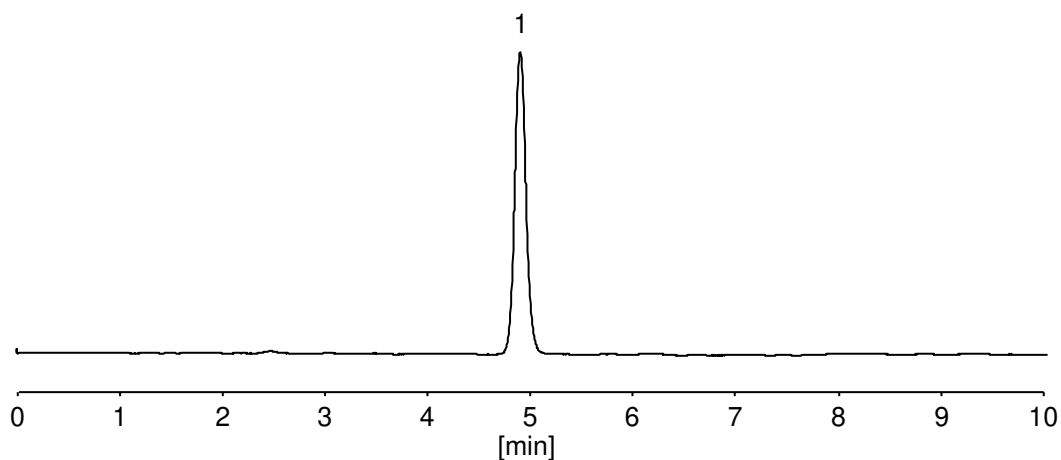
臭化ピナベリウム

Pinaverium bromide

臭化ピナベリウムはカルシウム拮抗剤として腸の平滑筋をリラックスさせ、腸の正常な収縮過程の回復を助ける働きがあります。この効果により過敏性腸症候群の治療薬として世界中で盛んに使われている薬剤ですが、日本で未承認のため国内で販売されていません。ここでは、強カチオン交換カラムである CAPCELL PAK SCX UG80 S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm) を用いて、有機溶媒濃度が高い移動相条件で分析した例を示します。



1. 臭化ピナベリウム (100 µg/mL)
Pinaverium bromide (M.W. 591.4)



【HPLC Conditions】

Column	: CAPCELL PAK SCX UG80 S5 ; 4.6 mm i.d. x 150 mm
Mobile phase	: 10 mmol/L HCOONH ₄ , H ₂ O / CH ₃ CN = 10 / 90
Flow rate	: 1 mL/min
Temperature	: 40 °C
Detection	: UV 254 nm
Inj. vol.	: 10 µL
Sample dissolved in	: 1 vol% HCOOH
	※ 1 µg/mL = 1 ppm